

デジタル写真撮影のポイント

まずは、被写体を前に作風のイメージ作りをする。

1 カメラ・ファインダー画像のチェック・ポイント

- ドッキリ:画像に、撮影の動機=ドッキリがイメージ通りに表現されているか?
- ハッキリ:画像のピントは、合焦点へピク列、ハレーションなく ハッキリしているか?
- スッキリ:主役は勿論、主役と脇役、背景の関係が スッキリした構図か?

2 カメラ 操作・各部設定のポイント

(1) カメラ操作・設定、重点ポイント

- ピント (合焦点へピク列合焦、脇役、背景が最適なボケ味の絞り値に設定)
- 絞り値 (開放から1段絞りのF値から F8~11までの範囲内で使用)
- シャッター速度 (ブレの程度を予測、最適シャッター速度の絞り値、感度に設定)

(2) 上記の他、カメラ操作各部設定の主なポイント (コンの例、個々の取説熟読)

- 画像サイズ / アスペクト比 / 記録方式 (L,M,S / 3:4,2:3 / RAW,JPG)
- シャッター・リリース (単写 / 連写 / ライブ・ビュー / ブラケット / 多重露出)
- 撮影モード (P:プログラム, A:絞り優先, S:シャッター優先自動 / M:手動)

- フォーカス・モード (S:固定, C:追従自動 / M:手動・フォーカス・エイト)
- フォーカス・エリア (S:シングル・エリア / D:ダイナミック / A:オート・エリア)
- フォーカス・ポイント (フォーカス・エリア内のフォーカス位置 = フォーカス・ポイント の位置)
- 測光モード (スポット測光 / 中央部重点測光 / マルチ・パターン測光)
- 露出補正 (被写体・明: +補正 / 暗: -補正, 補正量: 1/2, 1/3EV)
- ISO 感度 (A:自動 / M:手動 → 過度な高感度設定はノイズに注意)
- ホワイト・バランス (A:自動 / M:色温度手動 / プリセット手動)
- 手振れ防止機能 (手持撮影時 = ON / 三脚・長時間露出時 = OFF)
- CPL フィルター (フィルターを回転させ、最適なフィルター効果の角度に固定)
- レンズ面 (汚れ / 結露 / 雨滴付着などの異常を確認)

3 失敗しない作品作りの主なポイント

- 作品には作者の感動 = ドッキリが大切、ドッキリを前面に、リアリティーを大切に。
- 構図は安易に「レンズのズーミング」に頼らず、極力「カメラを移動」して探る。
- 光と影・風・波・被写体位置等 最適撮影条件を待って (時に連写で) 撮影。
- ファインダー (視野率考慮) で カメラの傾き, 不要写込, ハレーション等を隅々まで確認。
- シャッター・リリースは 手ブレのない様、カメラ支持方法等に細心の注意を払いリリース。
- 「後で撮影」は禁物、撮影を思い立てば一期一会の気構えで直ぐに撮影。

--- マナー順守、怪我と撮影機材損傷に注意 ---